

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	幼稚園教育総務運営事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	04	01	02	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	保育課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	浅水 透				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	幼稚園園児・教職員	意図	幼稚園における計画的・効率的な幼稚園運営、事務の執行を図る。
事業内容	需用費、役務費等を配当することで、計画的・効率的な幼稚園の運営、事務の執行を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度末で1園が廃園となり、現在は幼児教育支援センター附属幼稚園1園のみが運営を行っている。附属幼稚園の園舎は建替えにより、平成23年9月より使用開始している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 需用費、役務費等を配当しており、幼稚園における計画的・効率的な幼稚園運営が行われている。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,530,572	1,650,754	1,215,191				
事業費(b)(円)		793,872	878,304	793,641				
うち一般財源		793,872	878,304	793,641				
職員給与費(c)(円)		3,736,700	772,450	421,550				
人役・職員(人)		0.45	0.10	0.05				
人役・再任用(人)		0.10						
人役・臨職(人)		0.10	0.05	0.05				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	財務規則等に従い、予算の執行が適正かつ効率的に行われるよう努める。	③取組の課題	平成28年度に事業の所管課が変更となったため、類似の事業が複数あることから見直しの検討が必要である。
②今年度(H29)に実施した取組	財務規則等に従い、予算の執行が適正かつ効率的に行い、幼稚園の運営に支障が無いようにした。	④今後(H30以降)の改善計画	類似の他事業と合理化を図る。